

Tokyo Medical and Dental University

TMDU

07年4・5月号

第1号

ニュース



創刊号

特集1

臨床研究と倫理 p.4 - 9

インタビュー／針谷正祥・吉田雅幸

特集2

新入生歓迎! p.12 - 17

オリエンテーション／新入生へひとこと他



平成19年4月6日入学式学長式辞より
東京医科歯科大学学長 鈴木章夫

入学おめでとう！ 真のゆとりをめぐって

「ゆとり教育」という言葉がありますが、よく言われるように「教材削減」や「教課・時間の削減」が「ゆとり教育」であるとするならば、それは大いなる間違いです。

そこで私は「真のゆとり教育」というものを提案したい。医師や歯科医師をはじめとする医療人は、多くの基本的知識については、ことごとくこれを吸収し、咀嚼し、自分のものとしなければなりません。次いで一例一例、なるべく多くの症例を経験し、マスターし、それを患者のために迅速に役立てなければなりません。したがって真のゆとりとは「知のゆとり」、「技のゆとり」、「体力のゆとり」でなくてはならないのです。

「知のゆとり」とは、他の人よりも広く、深い専門的知識はもちろんのこと、他の人が持っていない幅広い教養や知識をまで持っていることです。

例えば、外交官であれば相手国の言葉が自由に話せることは当然の事です。その上、相手国の文学、歴史、哲学等にも造詣が深く、たとえば相手国の古典の一章を全部暗記していて、それを披露することができれば、相手方は自分の知らない自国の名著を教えられて全く驚いてしまうでしょう。これこそ、その人の中身であり「知のゆとり」なのです。

私自身、医学研究で最初に先生に認められたのは、数学と物理の知識を医学へ応用したことでした。これから諸君は、基本的知識に関してはえり好みせず、すべて貪欲に吸収しなければなりません。何時、何が役立つかは判らないからです。基本的知識の集積なくして、日本人にないと言われる「創造性」が生まれるはずがありません。

また、夜を徹して手術したり研究したりするには人並み以上の体力が必要です。諸君は在学中にぜひとも体力を付けて「体力のゆとり」を身に付けていただきたいものです。

医学、歯学等の医療人には、その上に「技のゆとり」がなくてはなりません。幾つかの診断手技や手術手技や研究の手法等を経験して、その手法が芸術の域にまで達して始めて「技のゆとり」が出来るのです。「知」「技」「体」のゆとりがあって始めて患者さんに十分奉仕できるのです。在学中に、ぜひともこれらの「真のゆとり」を身に付けていただきたいと思っております。

全文は、近日刊行の
『学長式辞集』所収



臨床研究 と倫理

Interview
針谷正祥
吉田雅幸

はりがいまさよし
よしたまさゆき
大学院医歯学総合研究科薬害監視学講座客員教授、前臨床試験管理センター長
生命倫理研究センター特任教授、学長特別補佐

——近年、生殖医療、移植医療などの分野で医の倫理が大きな社会問題となつています。また基礎研究の分野では、韓国でES細胞論文捏造事件をはじめ、わが国の一流大学でもデータの改竄や研究費の不正使用が発覚しました。

針谷先生は最近まで臨床試験管理センター長を務められていたわけですが、医療現場と基礎研究のいわば中間地帯ともいえる臨床研究や治験審査などの分野では、倫理への取り組みはどのようになっていきますか。

針谷 やはり、年々厳しさが要求されるようになっていきますね。医の倫理と言えばヘルシンキ宣言が最も有名です。ヘルシンキ宣言を遵守した研究であることは、臨床研究を世に出すための必要最低条件といつてよいでしょう。

——ヘルシンキ宣言とは？

敗した試験成績の論文を進んで掲載しようとはしません。これらをパブリケーション・バイアスと呼んでいます。

しかし科学の進歩にとつては、失敗例も成功例に劣らぬ価値をもっているのです。なぜなら、それが公表されなければ

世界中で同じ失敗が無意味に反復されるおそれがあるわけですからね。そこである試験をスタート時にあらかじめ登録するようになつておけば、結果の公表までを、誰もが追跡、確認することができるようになります。

ヘルシンキ宣言の骨子

- 1 科学的社会的利益より被験者、患者の福利を優先すること
- 2 被験者、患者の自発的な自由意思に基づく参加であること
- 3 インフォームドコンセント取得が必要であること
- 4 倫理審査委員会による事前審査を実施し、監視を継続すること
- 5 科学常識に従う基礎実験を行なうこと

針谷 世界医師会(WMA)が一九六四年のヘルシンキ総会で採択した宣言で、人間を対象とする医学研究の倫理的原則を定めたものです。「次ページの骨子参照」。その後、数回の修正や追加を経て、今日ではこの分野の憲法のような役割を果たしています。

——その他、臨床研究に必要なことは？

針谷 研究が各施設の治験審査委員会(Institutional Review Board)や独立倫理審査委員会(Independent Ethics Committee)などの承認を得ていること、研究参加者からのインフォームド・コンセントを得ていること、臨床試験(特に介入試験)であれば「臨床試験登録システム」に登録してあることなどが必要最低条件になります。

——臨床試験登録システムとは？

——そのような登録システムは、たくさんあるのですか？

針谷 急速に整備されつつありますが、わが国はスタートがかなり遅れました。しかし、ひとつの転機となったのは二〇〇四年九月の医学雑誌編集者国際委員会(ICMJE)の発表でした。The Lancetや

Journal of American Medical Association (JAMA)などが加盟するこの組織が〇五年七月以降、一定条件を満たす登録機関に登録されていない論文は受理しないと表明したので。〇四年一〇月にはオタワで国際的な臨床試験登録制度をサポートするための声明が出されましたし、〇五年四月にはWHOの技術諮問会議がこの問題を取り上げ、臨床試験登録の国際プラットフォーム作りへの機運が一気に進みま

針谷 臨床試験の内容を登録し、一般公開するシステムです。ただし製薬企業などが行う一部の試験については公開が制限されている部分もあります。

——なぜ、それが必要なのでしょう。

針谷 ひとつの目的はパブリケーション・バイアスの抑止です。たとえば誰かがある治療法を試みたとしますね。それが成功すれば、その人はもちろんそれを公表しようとするでしょう。しかし成功しなかった場合、その失敗の顛末を公表しようとするモチベーションは、成功した場合に比べて一般に下がります。また、出版社も失

向は他の一流雑誌にも波及しつつあります。

——日本での取り組み状況は？

針谷 倫理指針そのものについては厚生労働省が〇三年七月に「臨床研究に関する倫理指針」を策定し、その後〇五年四月の個人情報保護法施行に合わせて改正指針が作られ、今日にいたっています。一方の臨床試験登録制度についてはようやくUMIN (University Hospital Medical Information Network)の臨床試験登録システムが起ち上がり、〇六年にはICMJEの正式認定サイトとなりました。このほかに財団法人日本薬情報センター(JAPIC)や日本医師会治験促進センターが実施している臨床試験登録システムもあります。

——研究費助成などで登録を条件付けるという動きもあるのですか。

針谷 たとえば平成一九年度の厚生労働科学研究費補助金公募要項を見ますと、応募に当たっての留意事項として、前年度までは入っていない「臨床試験登録制

臨床試験登録制度の動向

2004年 9月	医学雑誌編集者国際委員会(ICMJE)の発表。「一定条件を満たす登録機関に登録されていない論文は2005年7月以降、受理しない。」
2004年10月	オタワ声明。国際的な臨床試験登録制度の推進を表明。
2005年 4月	WHO 技術諮問会議、臨床試験登録国際プラットフォーム作りを検討。
2005年 6月	UMIN-CTR (臨床試験登録システム)正式稼働。
2006年	UMIN-CTR が ICMJE の正式認定サイトに。
2007年	平成19年度厚生労働科学研究費補助金公募要項、「臨床試験登録の義務化」を明記。

度への登録」という項目が新設され、今述べた3つの登録システムのいずれかに登録し、それを報告書に記載すべきことが明記されています。(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkyu/igyuu/hojokin-koubo07/02.html)

針谷正祥 Harigai Masayoshi

大学院医歯学総合研究科薬害監視学講座客員教授、前臨床試験管理センター長。1984年 防衛医科大学校医学教育部医学科卒、医学博士。東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター講師、東京医科歯科大学医学部附属病院臨床試験管理センター助教授、同臨床試験管理センター長等を経て07年より現職。専門分野/膠原病・リウマチ学、臨床試験(治験)



——学術振興会および文部科学省の科学研究費などではどうでしょうか。

針谷 同様に、倫理的事項の記載が強化されています。「人権の保護および法令等の遵守への対応」といった欄の記載が不明確であったり、空欄であったりすれば、減点の対象となる可能性が高いと考えるべきでしょう。研究者自身ができるべきこと、倫理指針を遵守するべきかを理解することは、臨床研究の基本事項です。その点では、まだまだ各研究者の意識改革が必要です。

——「研究計画書を書く際の倫理的な注意事項をまとめていただけますか。」
針谷 研究計画書・同意説明文書の雛形が臨床試験管理センターのHPに掲載されていますので、研究計画書作成時には必ずご一読頂きたいと思います。
(http://www2.tmd.ac.jp/med/crc/clinicalResearch_process.html)。

今日の主題である「研究倫理」に関しては、重要かつ先生方が落としやすい項目が3つあります。それぞれに明確な記載をする必要があります。

第一は「倫理」の項目。ここにはヘルシンキ宣言と改正倫理指針の遵守、および被験者の個人情報保護についての対処などを具体的に記します。研究の内容に合わせて、疫学研究に関する倫理指針または臨床研究に関する倫理指針のいずれかを含めます。

第二は「健康被害の補償」の項目。健康被害補償の有無と内容、医師賠償保険への加入状況などを記します。

第三は「有害事象の取り扱い」の項目。ここには有害事象の定義、発生時の被験者への対応、病院長、施設長への報告義務などを明記します。ご不明な点があれば、臨床試験管理センターまでお問い合わせ下さい。

——本学には、教育研究特別経費による全国的にもユニークな「生命倫理研究センター」が設置されました。吉田先生は昨年、センターの特任教授に就任されたわけですが、本学の治験審査委員会や倫理委員会の活動状況を、どのようにご覧になっていますか。

ますか。

吉田 現在本学には部局ごとに七つの倫理審査委員会があり、加えて医学部・歯学部には治験のための臨床試験管理センターが設置されています。

——その問題点は？

吉田 これまでいくつかの倫理審査委員会に陪席した結果、各委員会やセンターが、それぞれ独自に審査をすすめていることが分かりました。開催時期など必要に応じて柔軟に設定できるなど、分散型システムが持つ強みもありますが、しかし他方で、審査委員会ごとに申請書類の形式が異なったり、審議のすすめ方が不均一になっていたりするおそれがあります。たとえば現在のシステムですと、ほぼ同じ趣旨の研究申請に対して、部局によって判断が異なることが起こりうるのです。もちろん、それぞれの委員会が独自に処理せざるをえない状況があることも事実ですが。

「研究計画書」に必要な3項目

- その1 「倫理」の項目
- その2 「健康被害の補償」の項目
- その3 「有害事象の取り扱い」の項目

——申請者にとってはどうですか？

吉田 申請者からも、自分の案件が治験等審査委員会に該当するのか、倫理審査委員会に該当するのか提出先の判断が難しいことや、委員会の間を申請書類が往復して時間が経過してしまうといった問題点が指摘されています。臨床試験管理センターからは、治験に伴う薬剤感受性遺伝子解析の審査申請や遺伝子解析を伴わない治験に準ずる遺伝子治療の審査申請などの案件についての相談を受けたこともあります。

——生命倫理研究センターとして、それにどのように対処されていますか。

吉田 昨年、こうした問題を解決するための情報共有の場として、生命倫理研究センターが中心となって「学内倫理審査委員会ネットワーク」を立ち上げました。学内

——臨床試験管理センターの今後の活動予定は？

針谷 4月から小池竜司先生が私の後任としてセンター長を務められており、臨床試験コーディネーターおよび臨床試験掛と一緒に治験患者様へのサポート、治験責任医師・分担医師へのサポート、製薬会社との交渉等、精力的に活動されています。また、東京大学・千葉大学・群馬大学・新潟大学・筑波大学・信州大学と共に大学院病院臨床試験ライアンスを昨年度より運営し、日本が大きく出遅れている国際共同治験への参加に力を入れています。本学の附属病院にはご存知のように治験責任医師・分担医師となるための治験登録医制度があり、登録の前提として治験研修セミナーに参加していただくことになっています。医師研究者には、つねに最新のグローバル・スタンダードを意識した倫理感覚を磨いて頂きたいと思っております。今後とも、そのためのささやかなお手伝いができればと思っています。

聞き手 鈴木直木(教養部独語教授、広報室長)



吉田雅幸 Yoshida Masayuki

生命倫理研究センター特任教授、学長特別補佐 1988年
東京医科歯科大学医学部医学科卒、医学博士
ハーバード大学医学部病理学部門客員研究員、東京医科歯科大学難治疾患研究所助手、同助教授、同大学院医歯学総合科学研究科代謝解析学分野助教を経て、05年より現職。
専門分野/循環器病学、細胞生物学、血管生物学、生命倫理

の各倫理審査委員会の連携を図り、倫理審査体制の標準化、申請書類書式の統一化を目指し、学内研究者が研究申請をしやすい環境を整備する試みを始めています。医学部倫理審査委員会および遺伝子解析倫理委員会については提出された申請書類の記載内容について申請者にアドバイスをする試みをはじめ、半年ほどになりますが、審査の効率化に一定の貢献をしています。さらに、学内研究者向けに

研究倫理について今年の二月に開催した研究倫理フォーラムのような啓発活動も行っていきたいと考えています。
——倫理審査体制の点検のために、生命倫理研究センターが行っていることは他にもありますか。

吉田 この分野ではやはり米国の大学から学ぶべき点が多々あります。そこで生命倫理研究センター特任助教の小笹先生をハーバード

ド大学研究倫理審査部門に派遣し、研修をしていただきました。帰国後の報告は示唆に富むもので「次ページ記事参照」、特に審査レベルでの申請案件トリアージなど、今後の参考にしたと思っています。

——今後の活動予定は？

吉田 先に述べた学内倫理審査体制の整備としてまず、統一申請書式の原案を作成中で、今後学内各委員会にご意見をいただきながらまとめていく予定です。さらに現在、我々が臨床活動として積極的に取り組んでいる遺伝診療外来に關しては、倫理的側面からみた遺伝性疾患のデータベースのソフト開発がほぼ完成し、臨床遺伝専門医をはじめとする医学教育への還元など実用化への準備が進んでいます。今後の大きなイベントとしては、来年1月に、全国医系大学倫理審査委員会連絡会議の当番校として国際シンポジウムの開催を企画しています。最先端基礎研究とそれに伴う倫理というテーマで、世界的にも著名な生命倫理シンクタンクである米国ヘイステイニングセンター所長を迎える予定です。

紅葉は全米一、と評されるボストンの秋。

ここで二〇〇六年九月中旬、三カ月にわたるハーバード大学公衆衛生大学院 (Harvard School of Public Health、以下 HSPH) での私の研修生活が始まりました。

本学の倫理審査委員会に陪席した経験から、私は出発前に次のような問題点を感じていました。

- 1. 申請から結論の通知までに長い時間がかかること
- 2. 一回の審議時間が長く、審査委員に大きな負担がかかること
- 3. 複数の審査委員会が並存し、申請者が申請先を迷ったり、審査基準が不明確であったりすること

科学的正当性と倫理的妥当性を兼ね備えた質の高い研究を行い、その成果を社会に還元するには、研究倫理審査体制の整備が必要不可欠です。倫理審査の面では先進国といわれる米国の大学では、いったい上のよう

な問題がどのように解決されているのか。その実際

科学、心理学などの専門家からなる8〜10名の組織で、意外なことに医師・医療者は含まれていませんでした。HSAは、主に申請された研究計画の科学的正当性と倫理的妥当性について、倫理委員のコメントも交え詳細に申請者とやり取りを行います。そしてガイドラインとも照らし合わせて倫理委員会に挙げるべき案件を振り分けます。こうして8割がたの申請書はHSAで処理され、申請から審査結果までの時間も約1カ月程度と迅速です。

HSAのような組織を持つのは、ひとつには研究資金(特にNIHのファンド)の中から、研究倫理の関連予算を一定の割合で確保することが義務づけられているからです。つまりHSA独自で運営資金を確保する必要がないのです。また全米共通のガイドライン(US Common rules)により申請書式や審査基準が整っていることも、迅速かつ詳細な審査を可能にするための重要なポイントです。



ハーバードでの研修を終えて

小笹由香 生命倫理研究センター特任助教

を知ることで本学の場合と比較検討し、現状を改善していきたいというのが、本研修の目的でした。

実際の研究倫理審査体制について学ぶためには、肝心の「研究内容」についてある程度理解しておくことが必要です。さもないと審査のポイントや委員会での討論内容も正確に把握できないことでしょう。そこで私はHSPHの大学院の講義にいくつか参加することにしました。研究申請書に書かれる研究内容の概観を把握するのがねらいです。

そこには世界中から人権、予防医学、環境、政策など

関連病院での治験や臨床研究などは各病院に一任されています。例えばBrigham & Women's Hospitalのような、多くの研究計画が申請されるところでは、月に1回、18の研究倫理審査委員会が開催され、審議時間は新規案件ならば1件15分、継続案件ならば1件5分ほどで、審議結果は申請から2週間ほどで返されます。このように研究倫理審査に関わる人的資源には格段の差があります。PRM&R (Public Responsibility in Medical Research) という、研究倫理審査に従事するスタッフのための学会があり、その参加者が三千人にもものぼることからも、彼らの差は明らかです。日常的に多くの倫理審査が行われる結果、効率的審査体制を整備するための事務局が必要となり、またその資金確保も可能になるわけです。

ただし共通のガイドラインがあっても、妊娠の可能性のある女性や子どもを対象とする研究については、やはり州によって法制度や

の幅広い分野を研究するために集まった留学生たちが、研究計画について教授と堂々と討論する姿がありました。学生たちを自立した研究者に育てようとする大学院教育の充実ぶりが感じられます。各個人が計画している研究の意義、方法論の妥当性、研究資金獲得方法、研究課題における倫理的配慮。こうした事柄についての活発な討論は、分野ごとに個別的でありながら、また同時に、参加学生の間で共有できる課題でもありうるということがよく分かりました。それはまたのちに経験する倫理審査委員会における活発で、ポイントを押さえた審議を予感させるものでした。

次に私は、倫理審査の中核を担う組織 Human Subjects Administration (以下HSA)の活動状況を追跡しました。HSAは研究倫理審査に申請する研究者と、倫理審査委員会の委員の双方を支援するために、10年ほど前に設立された組織です。法学、自然

法解釈が違うなど、課題は常にあり続けるということも、わかりました。もちろんハーバードのシステムをそのまま移植しても、本学になじむとは思えません。しかし、質の高い研究を社会に還元するためには、HSAのような専門的な事務局の立ち上げと、そのための資金確保の方法はぜひ検討すべき課題であると思います。

こうした観点から、生命倫理研究センターでは手始めに各部署における研究審査委員会を結ぶネットワーク会議を立ち上げました。また、いずれは医系大学倫理委員会連絡会議など、全国的な倫理委員会との連携の中で、国際的スタンダードを踏まえた倫理基準と審査体制について、本学からの提案を発信できたらと考えています。大学の命を受けての長期出張という恵まれた三ヶ月で得られた成果をもとに、今後とも生命倫理研究センターの活動に微力を尽くしたいと思っています。

新任教授の紹介 2006.12.1 ~2007.4.01

えいしよしのぶ 江石義信教授

所属 ● 大学院 医歯学総合研究科

分野 ● 人体病理学分野

就任 ● 07.1.1

薩摩出身で本学医学部卒業後、大学院博士課程・オーストラリア国立大学 PhD 課程を卒業。本学病理学講座の助手・講師、附属病院病理部副部長、人体病理学分野助教を経て、本年1月1日付けで小池盛雄教授の後任として昇任しました。専門は消化管病理学、研究テーマはサルコイドーシスの病因論です。

くぼ たとしろう 久保田俊郎教授

所属 ● 大学院 医歯学総合研究科

分野 ● 生殖機能協働学分野

就任 ● 06.12.1

昨年12月付けで生殖機能協働学教授に就任しました。本学医学部卒業後同産科婦人科学教室に入局し、平成8年本学産科婦人科学助教授を経て現在に至ります。専門は生殖内分泌学・不妊症学、主な役職は日本産科婦人科学会代議員、日本内分泌学会代議員などです。何とぞ宜しくお願い申し上げます。

やまもとのりこ 山本則子教授

所属 ● 大学院 保健衛生学研究科

分野 ● 高齢者看護・ケアシステム開発学分野

就任 ● 07.4.1

高齢者ケアの質指標開発、認知症患者のサービス利用支援等が現在のテーマです。高齢者の健康生活を守るシステム・人材作りのために、学内の先生方とも共同研究をさせて頂ける機会がありましたら幸いです。5歳と3歳の二児を抱え、公私ともに毎日フル稼働しております。何卒宜しくお願い申し上げます。

とよふく あきら 豊福明教授

所属 ● 大学院 医歯学総合研究科

分野 ● 頭頸部心身医学分野

就任 ● 07.3.16

本年3月16日付けで福岡大学医学部歯科口腔外科から参りました。「明るい歯科心身医学」をモットーに、教育・研究・診療などに元気に笑顔で励みたいと思います。100%生粋の外様がかつ初めての東京生活です。田舎者ならではの粗相が多々あるかと存じますが、どうか宜しくご指導の程、お願い申し上げます。

もりやまけいじ 森山啓司教授

所属 ● 大学院 医歯学総合研究科

分野 ● 顎顔面矯正学分野

就任 ● 07.4.1

本年4月1日付けで本職を拝命致しました。臨床面では口唇・口蓋裂を含む顎顔面先天異常ならびに顎変形症に対するチーム医療に、また研究面ではこれらの病態に関連した橋渡し研究に、矯正歯科の立場から積極的に関わっていきたくと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

いずみゆういち 和泉雄一教授

所属 ● 大学院 医歯学総合研究科

分野 ● 歯周病学分野

就任 ● 07.4.1

鹿児島大から15年ぶりに母校に戻り、歯周病学分野を担当させて頂きます。主な研究テーマは、歯周組織再生療法の開発、歯周病の病因の分子生物学的解明と全身疾患との関連です。素晴らしい自然に恵まれていましたが、地方大学での寂しさの中で頑張ってきました。今後は母校発展のために尽くす所存です。

結城文部科学事務次官が 本学を視察

鈴木学長と対談

5月14日、結城章夫文部科学事務次官が視察のため本学を訪れた。鈴木学長より本学の教育、研究、診療経営、そして今後の課題についての説明を受けた後、医学部附属病院を視察。亀田医療担当理事、坂本医学部附属病院長ほか案内役を務め、心臓外科や脳外科の手術などを間近で見学した。また、この春に正式に認可を受けた救命救急センターの診療施設を訪れ、その設



鈴木学長(左)と結城事務次官(右)

備の概要や救急車搬入統制についての説明に、熱心に耳を傾けた。さらに、多くのプロスポーツ選手の外傷治療を行っている高気圧治療室では、高気圧タンク制御装置、監視装置などを見学、短時間ながらも様々な角度から医療の現実に触れる機会を得た。結城次官は偶然にも鈴木学長と同じ名前。以前、そのことで声を交わしたこともある間柄とのこと。終始なごやかな雰囲気の中で、視察後、鈴木学長や理事を交えて、法人化後の状況について意見を交換した。



鈴木学長(左)と懇談する結城事務次官(右)



高気圧タンク制御装置・監視装置を視察する結城事務次官(中央)

式典

平成19年度入学式
4/6入学式が行われた。医学科83名、保健衛生学科102名、歯学科65名、口腔保健学科35名の計285名およびその御家族を前に、鈴木学長より式辞。真のゆとりについて、医師がもつべき5つの顔についてなど、新入生にメッセージが贈られた。

平成19年度大学院入学式

4/9大学院入学式。医歯学総合研究科修士課程64名、同博士課程220名、保健衛生学研究科48名、生命情報科学教育部61名の計393名が入学を果たした。学長より、特に研究倫理の重要性が指摘された。

平成19年度歯学部附属歯科技工士学校入学式

4/10技工士学校の入学式が挙行された。歯科技工士学科20名、実習科10名の計30名を前に、三浦歯科技工士学校長より入学許可の告示があった。

春の叙勲

細田裕康本学名誉教授(歯科保存学が瑞宝中綬章を、嶋齋元庶務部長が瑞宝双光章をそれぞれ受賞され、5月10日に授賞式が行われた。お二人の方々、おめでとうございます。

プレスリリース

内田信一准教授らの研究グループが遺伝性高血圧症の分子病態を解明。米科学誌Cell Metabolism 5月号に発表されることになり、4/27研究成果のプレスリリースが行われた。新たな降圧薬開発の可能性が示されたという。詳細は<http://www.tmd.ac.jp/cm/soumu/kouhou/news20070427.htm>



その他

新規採用職員接遇研修
4/4~11ホテルオークラ東京にて同研修を実施。計8名がベルスタッフ業務等を経験。法人化も4年目を迎える、職員の接遇態度の向上が望まれる。

ラジオアイソトープ使用者に対する安全取扱講習会(前期)

4/23~25実施。受講者は新規119名、継続444名の計563名。

第1回ハイオ医療オミックス情報学人材養成プログラム閉講式

4/27同閉講式が行われた。第一期修了生18名を前に、大山教育担当理事より挨拶があった。

保健衛生学研究科の三隅順子講師が消防庁より感謝状

5/8JR車内で心拍停止状態の男性を救助した三隅先生と自衛官に5月10日、消防庁より感謝状が贈られた。



臨床研修指導歯科講習会

5/24~25多摩永山情報教育センターにて第一回となる講習会が開催。本学歯学部附属病院(財)歯科医療研修財団の共催。参加者は24名。

5/28~29医学部附属動物実験施設にて開催。適正な動物実験を行うための講習で、参加者は合計で164名。次回は11月上旬に開催予定。

訃報

本学名誉教授神澤康夫先生が6月18日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

おめでとう!

都河明子教授、 文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞

都河明子教授(留学生センター)が、平成19年度文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。長年にわたる「女性研究者の能力発揮及び育成の理解増進」への貢献が高く評価された。

女性研究者のための活動を始められたきっかけは?

都河 大学卒業後すぐに結婚し、家事や育児をこなしながら研究に没頭するという充実した毎日を送っていました。ところが子育てが一段落した10年後、ふと気づくと同年代の男性はみんな昇進。でも女性では無理、とはっきり言われました。その頃から、女性研究



者のネットワークに参加し、女性が能力を發揮できる環境作りのためのボランティア活動を開始しました。

日本の女性科学者についての本を書かれていますね。

都河 子供の頃キョリー夫人の伝記をよく読みましたが、日本の女性研究者の活躍についての本がないことを不思議に思っていました。外資系会社に移ってからは退社時間が早くなったので友人と国会図書館に通い、日本の女性科学者の軌跡を追いかけました。

現在の日本の状況は?

都河 「国際女性技術者・科学者ネットワーク」という世界組織があり、私が日本会長と東アジア代表を務めています。やはり他の

先進諸国に比べるとまだまだです。医師国家試験の女性合格者の割合は06年には32%に達し、1年目にはその9割が常勤で働いていま

す。ところが5~7年後には、なんとそれが半減してしまうんですね。結婚・出産・育児によって退職せざるを得ない現状があるからです。深刻な医師不足の背景にはこの問題があり、解決は待たない状況です。

日本の科学の将来は?

都河 私はすでに30年近くにわたって、小中高校生のための「親子の理科実験室」を開催してきました。日本では他の先進諸国と比べても理科離れが深刻です。しかも超少子高齢化社会を迎え、今までのような男性中

心の「科学技術創造立国」を維持することはとうてい不可能です。女性や留学生など多様な人材を活用していく必要があります。

具体的には何が必要?

都河 男女が育児も仕事も続けられるような環境整備、ワークシェアリング、時短制度の充実、出産・育児を理由とする辞職者の復帰支援制度、退職者の能力を再活用する制度などいろいろですね。

晴れの受賞式はもちろん男女共同参画?

都河 多くの男性受賞者の方は夫人同伴でいらっしやうたのに、家人は恥ずかしいから参加したくないと。私の隣の席が空いていて寂しかったです笑。



都河明子 つかあきこ

1967年東京大学理学部卒。東大医学部研究所で20年間、分子生物学の研究に従事。88年外資系製薬会社に移り、レーザーと光増感剤を組み合わせた「光線力学療法」という癌治療法を開発、厚生省に申請。94年東大理学部講師。99年日本学術会議との共催で日本初の「第11回国際女性技術者・科学者会議」の開催に尽力。現在「国際女性技術者・科学者ネットワーク」東アジア代表及び日本会長。2001年4月本学留学生センター教授に着任し、現在に至る。

年間200件を超える留学生の相談業務やきめの細かい支援活動を行う傍ら、教養部で教鞭をとる。子供たちに理科の楽しさを伝えるために制作したDVDの上映会や親子の理科実験室を各地で開催。著書「拓く日本女性科学者の軌跡」(共著、96年、ドメス出版)、「翔く女性研究者の能力発揮」(04年、ドメス出版)、「理系に行こう!」(06年、九天社)など。その他論文、翻訳など多数。07年文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)受賞。

Oriental

下は食堂、談話室、生協売店が併設された「シャン・ドゥ・コースリー」



右はヒボクラテスホール。
上は教養部掲示板。



先生の丁寧な説明に熱心に耳を傾ける学生たち。みなさん今日が初対面。



07年4月11日、本学教養部(市川市国府宮)で
新入生に向けた「教養部オリエンテーション」が
開催された。
新しい生活のスタートを切った新入生たち。
これから始まる学生生活や
プライベートな生活に何を期待し、
またどんな不安を感じているのだろうか。
私、文書広報掛の新人掛員、酒井啓が飛び入りで
教養部オリエンテーションに参加して、
新入生たちの生の声取材した。

オリエンテーションから

特集2 新入生歓迎!

東京医科歯科大オリジナルグッズ

味わい深い「湯飲み」の他「クラッチバッグ」や「スケッチブック」などもある。本学生協でのみ購入可能。



オリエンテーション 於箱根



4/12~13、一泊二日
で「新入生学外オリエンテーション(箱根)」
が行われた。初日は
午後から「コミュニケーション・ゲーム」が、
2日目は宿泊した湯本
富士屋ホテル前の河川
敷清掃のボランティア
活動などが行われた。

「教職員の方や先輩など、出会う人たちがみなよい人ばかりで、若干不安だった学校生活に自信が持てるようになった」(医・男)。

実際、飛び入りの私の目から見ても、教職員の方が親身な態度で暖かく新入生を迎え入れていた姿が印象的だった。

先日、湯島キャンパスでこの教養部オリエンテーションの時に話を聞かせてくれた歯学科の男子学生に偶然出会った。「大学生活には慣れてきた?」と尋ねると、「だいぶ慣れてきました。僕は他大学から入り直したんですが、今後もだれもないように引き締めていきたいですね」と語ってくれた。部活は体育系に入部したという。是非とも文武両道を実現してほしいものだ。

ホッとしたことは?

「3年編入なので1年生と知り合えないと思っていたんですが、みんな楽しく接してくれて友達ができてよかった」(看護編入・女)。

新生活が始まるにあたっての希望は?

- 「将来はWHOやJICAなどの国際機関で働きたいと思っているので、専門に加え語学を頑張りたい」(看護・女)。
- 「良い人間関係を作りたい」(医・女)。
- 「免許を取りたい」(歯・女)。
- 「友達をたくさん作りたい。バイトもしたいし、サークルもしたい。やりたいことがたくさんありすぎて…」(看護・女)。

不安はない?

- 「勉強に関しての心配はありません」(医・男)。
- 「大学は自由に時間を使える印象があったけど、思った以上にビッチリ授業が入っていて大変そう」(歯・女)。
- 「不安は金銭面。バイトをしようと思っただけですが、忙しそうではなさそう」(口腔・女)。
- 「医学科に女子が少ないのでその女の子たちとノリが合うかどうか心配」(医・女)。
- 「近くにコンビニがないのと、ご飯を食べる場所が学食しかないのが不安」(歯・女)。
- 「朝早い講義に間に合うかどうか不安」(検査・女)。

学部長から新入生へのひとこと

学友会って こんなところ



総務担当の根城くん(医5)、広報担当の中瀬さん(医5)ほか、執行部のみなさんに学友会の組織や活動内容などについて聞きました。

学友会とはどんな組織?

根城 高校の生徒会のように、学生=学友会員の代表的組織です。執行部の役員は代々、それぞれの部活動の先輩から推薦されます。

主な活動内容は?

根城 年一回の新入生のための『学友会報』の発行、『体育祭』、『お茶の水祭』の運営、体育館、道場、グラウンド、合宿所の使用の調整などです。

現在の悩みは?

根城 部活やサークルのためのスペースが少ないということですね。『お茶の水祭』でもそうですが、医歯大のキャンパスには学生だけではなく、患者さんも多いので必然的に学生の活動にも制限が多くなります。そこの折り合いを付けることが難しいところですね。

これからの活動方針を聞かせてください。

中瀬 今までどおり裏方として、学生の皆さんの課外活動が円滑で楽しいものになるよう陰から支えていきたいですね。授業のことは学務課あるいは教務掛に、部活動・サークル活動などの課外活動のことは、私たち学友会に尋ねてください。



教養部長
和田勝 教授

今の自分を
見つめ直し、
とことん考える

入学してから3ヶ月、充実した学生生活を送っていますか。この機会にこれまでの自分を思い返し、今の自分を見つめ直し、これから先の自分のことをとことん考えてください。考える手がかりのためには、いろいろなものに触れるのがいいと思います。生物の先生としては、上野の国立科学博物館なんかをお勧めします。4月に日本館がリニューアルオープンし、広くなった展示スペース

ースに、地球の歴史、生命の進化など興味ある展示が展開されています。ついでに国立博物館や西洋美術館などにも寄りましょう。これらのものに触れて、地球や人類の歴史を感じ、自分がその中の一員であり、未来へ受け渡していくことに思いを馳せてください。喉が渇いたら本屋に駆け込んで、気になった本を探して買ってみましょう。ともかく、とことん考える癖をつけてください。

やっておけばよかったこと...

生活面

- 早起き。免許をとる。看護の子と仲良くする。和洋女子大と交流する(医・男)。
- 体力作り。教養の時に体力をつけておかないと、毎日学部に通うのが大変(歯・女)。
- 時間のあるうちに、もっと気分転換の方法や趣味を見つけておけばよかった(看護・女)。
- 旅行など、教養でしかできないことをやっておけばよかった(検査・女)。
- やりたいことがすべてやりきれなかった(口腔・男)。

学業面

- MICをもうちょっと頑張っておけばよかった。学部の勉強の理解度が変わる(医・男)。
- 英語。原著論文などがなかなか読めない(歯・女)。
- 一般化学基礎検査・女。
- 法学、社会学などの社会系科目をもっと受講すべきだった(口腔・男)。



歯学部長
田上順次 教授

人として
たくましい
医療人を目指して

皆さんは本学に入学し、自分の人生設計に向けて具体的な第一歩を踏み出したことになりました。今を大切に過ごしてゆけば着実に夢や目標は近づいてきます。長い人生あせる必要はまったくありません。大いに楽しみ、やりたいことをやり、自らの人間としての幹を太くしてほしいと思います。しっかりとした目標を持っていて、それにもまっすぐに突き進むとしても、さまざまな変化

に立ち向かい対応してゆかねばならない状況は避けられません。困難にぶつかって自らを傷つけていためるのではなく、困難を糧として、自らの力にしてゆけるような人としてたくましい医療人であれば、きっと人々を幸福にすることも容易です。自らも幸福な充実した人生になるはずですよ。

やってよかったこと!

学業面

- 生物(細胞学)は必要だったし役に立っている(医・男)。
- 仏語、独語。ネットなどで様々なニュースが読めるようになり視野が広がった(歯・女)。
- 読書セミナー。読書を沢山して、専門が上がった今でも、その時得た知識や考え方は、役に立っている看護・女)。
- 学部の学科。おかげで学部が上がってからもやる気、持続中(口腔・男)。

今だから言える!
教養部で
やってよかったこと!
やっておけばよかったこと...

湯島キャンパスの先輩が
教養部の学生へ贈る
教養部での有意義な
学生生活のポイントとは



里見公園

室町時代に里見氏が北条氏と戦った古戦場跡。桜の名所。左はバラ園。園内の国府台城は滝沢馬琴の「南総里見八犬伝」のモデルといわれる。



国府台キャンパス 周辺散策 スポット

教養部キャンパス周辺の
国府台地区は緑がいっぱい。
ぜひとも脚をのぼして
歩いてみよう！



江戸川縁散歩コース

江戸川・河川敷を眺望しながら歩くことができる。「矢切の渡し」、西蓮寺の「野菊の墓文学碑」まで脚をのぼすことも可能。

至：JR 松戸駅、北総線矢切駅

**東京医科歯科大学
教養部**

国府台郵便局



ヒポクラテスホール

国府台高校

和洋女子大

筑波大学附属聾学校



伝説上の女性「手児奈」を祀る霊堂。万葉集では山部赤人や高橋虫麻呂がこの伝説に関する歌を詠んでいる。

手児奈霊堂

至：京成国府台駅・JR 市川駅

菜池緑地



昔は国分沼と呼ばれた。梅や桜の名所。水鳥が生息。萼菜は睡蓮(すいれん)科の植物。若葉は食用。公園奥の水生物池では萼菜が育成されている。



真間山 弘法寺



奈良時代に行基菩薩が手児奈の哀話を契機に創建。現在は日蓮宗本山。上は推定樹齢400年の「伏姫桜」と呼ばれる枝垂桜。



編集後記

- 18年度をもって従来の『学報』を廃止し、今年度から新たに「TMDUニュース」を発行することになりました。
- 今後、規約改正、人事異動等は本学ホームページからご覧いただくこととなります。
- 「TMDU ニュース」は主として学内向け広報誌を、「BLOOM」は今後、学外への情報発信誌をめざします。
- なにしろ発足間もない広報室の初仕事。手探り状態での創刊号には多々御批判もあるでしょう。皆さんの忌憚のない叱咤激励を糧に、よりよい広報誌を作っていきたいと思ます。(直)

TMDUニュースについてのご意見・ご要望
E-Mail:kouhou.adm@tmd.ac.jp

でも実施しています。体の不調や悩み事があったら、些細なことでも気楽にお立ち寄り下さい。本学附属病院への紹介状も作成致します。保健管理センターHP (<http://www.tmd.ac.jp/cm/hsc/>)でも情報を発信しています。**アルバイトの紹介** 家庭教師やアルバイトの紹介をしています。国府台地区は教養部厚生掛、湯島地区は学務部厚生課に申し出て下さい。**本学HP「キャンパスライフ」の紹介** 授業料免除や奨学金の情報、その他学生生活全般の情報について、本学HPに掲載 (<http://www.tmd.ac.jp/cm/gakusei/index.htm>) しております。こちらもいつでも「意見をお寄せ下さい」。

**学生
なんでも
相談室**

困った時は
ココに相談！

授業料免除の方法

学業優秀かつ経済的な理由で授業料の納付が困難な場合は選考の上授業料が免除されるケースがあります。各年度の前期分・後期分の申請をそれぞれ受け付け審査します。申請受付の開始や選考結果などは、厚生課掲示板及びHPで掲示します。(詳細は「学生生活の手引」P25、P145～150)

奨学金の取得方法

規模が大きいのは、日本学生支援機構の奨学金ですが、その他にも多くの奨学金制度があります。運営母体、対象学生、貸与・給付、条件、申請方法など様々ですので、本学HPを参考にしたり、直接厚生課に相談して下さい。(詳細は「学生生活の手引」P35～37)

保健管理センターとは

学生の健康を保持するための指導や心身両面についての診察、健康相談、各種予防接種や健康診断な

シリーズ・医学の先駆者たち

Hippocrates

ca.460BC~ca.377BC

医学の父・医療倫理の礎

ヒポクラテス

エーゲ海コス島生まれ。臨床観察と経験から病気を体系的にとらえなおし、呪術や迷信から区別される科学的医学への道を開いた。

その功績から「医学の父」と称される。

特に医師の行為規範について説いた「ヒポクラテスの誓い」は、今日に至るまで医療倫理の礎として受け継がれている。

表紙の写真は、日本を代表する彫刻家、佐藤忠良氏が本学のために制作したヒポクラテス像。医科同窓会より本学に寄贈され、一体は本学医学部附属病院に、一体は教養部ヒポクラテスホールに置かれている。左は同ホール入口に掲げられた「ヒポクラテスの誓い」。

